

福島県議会議員

佐藤てつや

誰もが誇れる“ふるさと”の創造

猛暑の日々がようやく終わったと思ったら一気に朝夕が冷えてきました。急な気候の変化に、お風邪などひいてはおられませんでしょうか。

昨年10月の福島県議会議員補欠選挙（郡山市選挙区）に、多くのご支援のおかげで初当選をさせていただいてから、早いもので1年が経ちました。この間、県議会で計9問の一般質問をいたしました。今回は、その中から4つの質問についてご紹介しますので、ぜひご一読ください。

東日本大震災以降、災禍が絶えない本県は、今年も台風13号に伴う大雨被害が発生しました。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げるとともに、県議会最大会派の自民党福島県連の一員として、被災された皆様の生活再建のため、しっかりと行動を続けて参ります。

“佐藤てつや”はこれからも、皆様の抱えているお悩みごとをひとつひとつ解決するべく、精進して参ります。

これまで以上のご支援とご声援を賜りますようお願い申し上げます。



県議会で質問者として登壇した時の様子



防災訓練の様子



避難所支援の様子



産業博にて根本匠代議士と



地域の皆さんと

佐藤てつやプロフィール



昭和43年4月19日生まれ。

郡山市鶴見坦出身
郡山市立薫小学校卒業
郡山市立郡山第一中学校卒業
福島県立郡山高等学校卒業
工学院大学専門学校夜間部建築科研究課程卒業

- 趣味／音楽・演劇鑑賞、スポーツ観戦、キャンプ
- 特徴／身長180cm、常にパワー全開！元気一番！
  妻、ネコ3匹と暮らしている。

平成６年	社団法人郡山青年会議所入会（平成20年卒業）
平成18年	郡山市立薫小学校 父母と教師の会会長（平成22年まで）
平成21年	郡山市PTA連合会副会長
平成23年	郡山市立郡山第一中学校PTA会長
平成23年	郡山市議会議員（連続3期）
平成26年	福島県立安積黎明高等学校PTA会長
令和４年	福島県議会議員（1期）

◆所属常任委員会：**土木委員会**
◆所属特別委員会：**県民健康・こどもの未来特別委員会**

福島県議会における佐藤てつやの質問と解説

ふくしまグリーン復興構想について

Q 本県は、国内外に誇る豊かな自然環境に恵まれており、昨年度拡張した奥会津の越後三山只見国定公園をはじめ、本県の自然公園の魅力に光を当て、情報を発信し、交流人口を拡大させていくことが、本県の復興につながるものと考えますが、福島グリーン復興構想の推進にどのように取り組んでいくのかお尋ねします。

A 新年度は豊かな自然環境や歴史文化のほか、絶景路線のJR只見線など、国定公園の魅力を更に国内外へ広く発信するビジターセンターの整備を進め、引き続き市町村と連携をしながら自然公園の魅力向上と発信の強化に取り組み、本構想を推進し、本県の復興と地方創生につなげて参ります。

Point! てつやの解説



内堀知事に答弁いただいた質問です。
県では平成31年に環境省と共同で「ふくしまグリーン復興構想」を策定しました。本県の豊かな自然環境の発信は原子力災害に見舞われた福島県のマイナスイメージをプラスに転じることができ、知事の掲げる「ふくしまプライド」を国内外に示すことにつながると考えます。

本県への移住施策について

Q コロナ禍を機にテレワークなどの多様な働き方が進展し、東京圏等の都市部に住む方の中には、ゆとりある暮らしを求めて地方移住に関心を持つ方が増えております。関係人口をさらに広げていくため、今年度県は新たな関係人口の創出にどのように取り組んでいるのかお尋ねします。

A 関係人口の創出は移住促進の前段として重要な取り組みであり、昨年9月に開設した関係人口ポータルサイト上で、県内で地域づくり等に取り組むキーパーソンを紹介し、交流できる場所を提供するほか、活動内容や福島の魅力等をライブ配信するなど、人に焦点を当てた新たなきっかけづくりに取り組んでおり、引き続き様々な切り口から本県とつながる機会を増やし、関係人口を創出して参ります。

Point! てつやの解説



移住に向けてすぐに行動に移せる方は少なく、まずは地域の様子を知り、その地で暮らしている人々の魅力に触れ、継続的な関わりを持つ中で、徐々に移住のイメージが膨らんでいくものです。いかに継続的な関係性、いわゆる関係人口の広がりをつくるかが重要な要素であると考えます。

県立高等学校改革について

Q 県教育委員会は県立高等学校改革を進める上で、地域の理解促進にどのように取り組んでいるのか、また県立高等学校改革による統合によって生じた空き校舎や土地について所在市町村との協議をどのように進めていくのかお尋ねします。

A 地元の代表者を委員とする懇談会や住民説明会等において再編整備の必要性や方向性を丁寧に説明し、魅力ある学校づくりを推進して参ります。空き校舎等への対応は、地元に近い地方振興局に担当職員を配置し、所在市町村との対話を重ね丁寧に協議して参ります。

Point! てつやの解説



郡山市では安積高校御館分校が該当します。学校の統廃合については各校の伝統・文化の継承や、卒業生や地域の理解を得ることが重要です。一方、譲り受けられる所在市町村は魅力ある利活用案を検討する必要があると考えます。

夜間中学校について

Q 夜間中学校は、本県において福島市が設置を表明し、令和6年に開校します。そこで、県教育委員会は市町村による夜間中学校の設置に向け、どのように支援していくのかお尋ねします。

A 設置検討委員会において、準備費用や人件費の一部負担など、県の支援策の活用を市町村に促しています。今後とも、ニーズ調査の結果や他県先進校視察で得た情報を提供するなど、各市町村が設置に向けた見通しを持てるよう促して参ります。

Point! てつやの解説



「夜間中学校」は、不登校など様々な事情から実質的に義務教育を受けられないまま卒業し、学び直しを希望する方に対して、教育の機会を提供する上で重要な役割を果たすものと考えます。ICTの活用をはじめ、学びの多様化における選択肢のひとつとして大きく期待しています。

皆さんの声、ぜひお聞かせください！
佐藤てつや後援会事務所　〒963-8862 郡山市菜根三丁目39-7
TEL.024-934-2585 FAX.024-926-0943
E-mail:sugar503@cameo.plala.or.jp